

本部入庁証の変更について

項目	内容
現状・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ○ セキュリティの確保 庁舎警備員の目視による確認（入庁時、目視可能な入庁者は約8割にとどまる） ○ 着用上の問題 被服の損傷や物理的に被服に着用できないなどの問題（職員提案あり） ○ 費用上の問題 破損による費用負担～約40万円／年
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1段階（令和8年4月～） <ul style="list-style-type: none"> ・入庁証をカード型（名刺用紙により作成したもの）とし、ネクストラップ（別途購入）ケースに入れるものとする。 ・紛失時は、すべての入庁証を回収し、識別要素を変更して再発行するなどのセキュリティ対策を実施。 → ネクストラップの活用により着用・提示が容易となるほか、庁舎警備による目視においても視認性が向上。 ・カード及びネクストラップは警務課で調達、各課において識別番号を設定の上、印字して配布。 ○ 第2段階（令和9年度目途） <ul style="list-style-type: none"> ・入庁証カードをプラスチック製のICカードとし、ICカードリーダーにかざして通行。 ・紛失、盗難への対応が可能で必要に応じて入庁時間の記録等も可能。 <div style="text-align: center;"> <p>男性用 単価：2,960円 女性用 単価：1,650円</p> <p>ネクストラップ 単価：264円</p> <p>表 裏</p> </div>
改正する例規通達	<ol style="list-style-type: none"> 1 新潟県警察本部庁舎等警備要綱の制定について（例規通達）（平成14年3月18日本部（警務）第18号） 2 職員の名札着用要綱の制定について（例規通達）（平成16年10月20日本部（機改）第45号）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入庁証等の発行は約2,500名を対象（費用66万円） ○ 来客対応職員等の名札についても上記ネクストラップを使用したものとする。

公安委員会説明資料

令和8年2月4日

警務部警務課

警察官採用試験の試験制度変更について

概要	<p>警察官採用試験を巡る情勢は、少子化による就職適齢人口の減少等により厳しい情勢が続いており、令和7年度の受験者数は317人（前年比－38人）、競争倍率は2.0倍（前年3.0倍）でした。</p> <p>そのため、新潟県警察では、全国から受験していただくために、公務員試験のための特別な準備が不要な「SPI3」枠を新設するなど採用試験制度を変更し、募集人数※を大幅に増加する予定です。</p> <p>（※ 募集人数は、2月20日以降公表予定）</p>																				
変更開始	令和8年度試験から																				
変更内容	<p>1 SPI3枠を新設</p> <p>警察官A（大卒）は、従来の教養試験またはSPI3（テストセンター方式）※の選択制となります。</p> <p>※ SPI3（テストセンター方式）は、指定期間内に、都合の良い日時・場所（全国主要都市等に設置されるテストセンター会場またはオンライン）で受験することができます。</p> <p>2 10月採用試験を実施</p> <p>警察官B（大卒以外）は、10月採用の警察官を募集します。試験は、SPI3（テストセンター方式）となります。</p> <p>3 論文・作文試験を変更</p> <p>全ての試験職種の論文・作文試験は、オンラインまたは郵送提出に変更となります。</p> <p style="text-align: center;">従前(令和7年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験区分</th> <th colspan="2">一次試験</th> </tr> <tr> <th>試験日</th> <th>試験内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>警察官A</td> <td>5/11(日)</td> <td>教養試験 論文試験 (教養試験と共に試験会場で実施)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">変更(令和8年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験区分</th> <th colspan="2">一次試験</th> </tr> <tr> <th>試験日</th> <th>試験内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>警察官A</td> <td>5/10(日)</td> <td rowspan="3">論文(作文)試験 (オンラインまたは郵送提出)</td> </tr> <tr> <td>警察官A(SPI)</td> <td rowspan="2">4/25(土)~5/10(日)</td> </tr> <tr> <td>警察官B(SPI) ※ 令和8年10月1日採用</td> <td>SPI3</td> </tr> </tbody> </table>	試験区分	一次試験		試験日	試験内容	警察官A	5/11(日)	教養試験 論文試験 (教養試験と共に試験会場で実施)	試験区分	一次試験		試験日	試験内容	警察官A	5/10(日)	論文(作文)試験 (オンラインまたは郵送提出)	警察官A(SPI)	4/25(土)~5/10(日)	警察官B(SPI) ※ 令和8年10月1日採用	SPI3
試験区分	一次試験																				
	試験日	試験内容																			
警察官A	5/11(日)	教養試験 論文試験 (教養試験と共に試験会場で実施)																			
試験区分	一次試験																				
	試験日	試験内容																			
警察官A	5/10(日)	論文(作文)試験 (オンラインまたは郵送提出)																			
警察官A(SPI)	4/25(土)~5/10(日)																				
警察官B(SPI) ※ 令和8年10月1日採用			SPI3																		

公安委員会説明資料
令和8年2月4日
警務部監察官室

令和7年度第3四半期（10月～12月）の監察実施結果について

項目	内 容	
実施結果	1 総合監察	
	(1) 実施署	
	10 署（小出署、糸魚川署、妙高署、新発田署、新潟中央署、長岡署、新潟北署、津川署、五泉署、与板署）	
	(2) 実施事項	
	各部の業務監察、通常点検、監察執行官と若手・中堅職員及び幹部職員対象の意見交換及び留置場の常設署にあっては巡視を実施した。	
	(3) 改善を求めた事項	
	ア 交通切符等の管理状況について	1 件
	イ 証拠物件の取扱い及び管理状況について	1 件
	ウ 個人情報等の警察情報管理の推進状況について	1 件
	2 随時監察	
	(1) 実施数	
	100 か所（警察署 7、交番等 23、駐在所 36、本部 30、執行隊 4）	
	(2) 指導事項	
ア 厳正な規律の保持と基本の徹底について	5 件	
イ 庁舎管理と環境整理について	4 件	
ウ 警察情報管理について	7 件	
エ 適正な拳銃及び無線機の保管管理について	3 件	
(3) 改善を求めた事項		
なし		

医療機関・中小企業向けセキュリティインシデント対応机上演習について

開催日時	令和8年2月17日(火)午後1時30分から午後4時30分までの間
開催場所	新潟市中央区天神1-1 プラカ3 地下1階 NINN03 会議室 RoomF
実施主体	サイバー空間の脅威に対する新潟県産学官民合同対策プロジェクト推進協議会（通称：新潟県サイバー脅威対策協議会、事務局：県警察） 独立行政法人情報処理推進機構（IPA）
参加者	県内の医療機関や企業等の経営層、情報セキュリティ責任者など 約20名（見込み）
講師	株式会社ラック 荒井 文昭 氏
目的・内容	<p>全国では、重要インフラ事業者に対する DDoS 攻撃や企業等に対するランサムウェア攻撃等の社会経済活動に多大な影響を及ぼすサイバー攻撃が頻発しており、その攻撃手法や被害原因を学び、被害防止対策を推進する重要性は高まっている。</p> <p>令和7年上半期における全国のランサムウェアの被害報告件数は、116件と高水準で推移しており、県内企業の被害も確認されている。</p> <p>ランサムウェア被害にあった場合、医療活動や企業活動が機能不全に陥ることに加え、県民の生活にも甚大な影響が出る可能性がある。</p> <p>このような情勢を踏まえ、県内医療機関・企業のサイバーセキュリティ水準向上のため、新潟県サイバー脅威対策協議会とIPAが共催でセキュリティインシデント机上演習を実施するもの。</p>
参考	<p>政府では、毎年2月1日から同年3月18日を「サイバーセキュリティ月間」と位置付け、産学官民で連携して、サイバーセキュリティに関する普及啓発活動を集中的に実施することとしており、本演習も、その一環として実施する。</p> <p>令和8年のサイバーセキュリティ月間は、「サイバーはひとつとじゃない」をテーマとし、広く一般国民を対象としつつ、世代を問わずサイバーセキュリティの重要性に気づいていない人、サイバーセキュリティの重要性は知っているがどう対策していいかわからない人に加え、対策が十分に進まない傾向にある中小企業をターゲットの中心に普及啓発キャンペーンを展開し、対策の重要性の意識付けや対策の浸透・底上げを図ることとしている。</p>

令和7年の刑法犯認知件数等について（確定値）

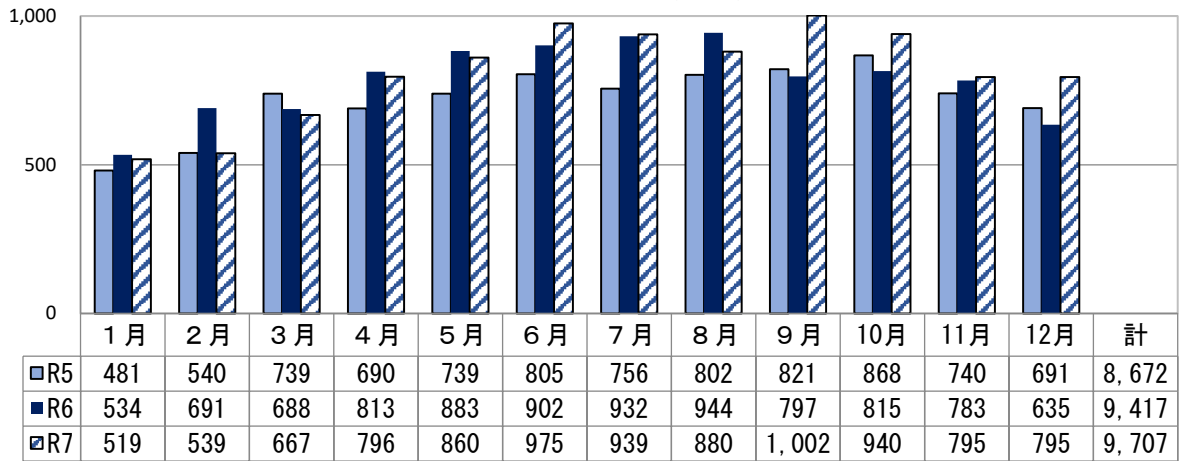
※（）内は前年比

1 刑法犯の概況

(1) 認知状況

- 全刑法犯の認知件数は 9,707 件（ +290 件、 +3.1 %）
- 重要犯罪の認知件数は 168 件（ +14 件、 +9.1 %）
- 窃盗総数の認知件数は 6,365 件（ +113 件、 +1.8 %）

認知件数の推移（月別）



(2) 検挙状況

- 検挙件数は 5,362 件（ +201 件、 +3.9 %）
- 検挙人員は 3,146 人（ +327 人、 +11.6 %）
- 検挙率は 55.2 %（ +0.4 ポイント）

2 罪種別状況

	認知件数		検挙件数		検挙率		検挙人員	
	令和7年	前年比	令和7年	前年比	令和7年	前年比	令和7年	前年比
全刑法犯	9,707	+290	5,362	+201	55.2	+0.4	3,146	+327
重要犯罪	168	+14	163	+26	97.0	+8.0	148	+37
殺人	22	+11	24	+17	109.1	+45.5	20	+14
強盗	14	+6	14	+5	100.0	-12.5	21	+12
放火	7	-2	7	-3	100.0	-11.1	7	-1
不同意性交等	48	-1	44	-3	91.7	-4.2	47	+11
略取誘拐・人身売買	6	-1	6	-1	100.0	±0.0	6	+2
不同意わいせつ	71	+1	68	+11	95.8	+14.4	47	-1
窃盗総数	6,365	+113	3,382	+140	53.1	+1.2	1,545	+247
重要窃盗	764	-215	526	-322	68.8	-17.8	115	+5
侵入盗 ※	731	-204	498	-327	68.1	-20.1	101	+4
自動車盗	27	-7	20	+1	74.1	+18.2	10	+1
ひったくり	2	-1	0	-1	0.0	-33.3	0	-1
すり	4	-3	8	+5	200.0	+157.1	4	+1
上記以外の刑法犯	3,174	+163	1,817	+35	57.2	+2.0	1,453	+43

※侵入盗とは、空き巣、忍込み、事務所荒しなどをいう。

公安委員会説明資料

令和8年2月4日

刑事部組織犯罪対策課

SNS型投資詐欺未遂事件被疑者の検挙について
 (新潟西署・サイバー犯罪対策課・生活保安課・機動捜査隊・組織犯罪対策課)

被 疑 者	住居 東京都練馬区 甲 (男 35歳)
検 挙 年 月 日 罪 名 ・ 検 挙 種 別	令和8年1月22日 詐欺未遂で通常逮捕
事 案 概 要	<p>1 事案概要</p> <p>被疑者は、氏名不詳者らと共謀の上、令和7年8月5日から9月2日までの間、氏名不詳者らが、SNSの投稿を見て接触してきた神奈川県川崎市居住のAさん(当時40歳代、男性)に対し、メッセージアプリを使用して、実在する証券会社の社長や同人のアシスタントを名乗り、暗号資産を運用する事実はないのに「暗号通貨は、一般投資家の注目を集める投資対象となり、将来的には持続的な上昇が見込まれる。」「私たちは初期段階で300%の利益計画を策定した。」などと勧誘した上、偽装サイトで発生した体験投資の利益として被疑者がAさん名義の口座に振込入金し、さらに氏名不詳者がAさんに商品券を郵送するなどして、暗号資産を送信すれば投資運用されるとAさんを誤信させ、暗号資産をだまし取ろうとしたが、暗号資産交換業者の制限によりAさんが暗号資産を送信できず、その目的を遂げなかった。</p> <p>2 新潟県警察本部長を名乗るアカウント</p> <p>令和7年9月11日、Aさんが参加していたメッセージアプリのグループに新潟県警察本部長を名乗るアカウントが加わり「このグループは安全です。」等と発言していた。</p>

公安委員会説明資料
令和8年2月4日
交通部交通企画課

「アルビレックス新潟」と協力した交通安全標語の募集について

項目	内容
目的	<p>県警察では、令和3年から、プロサッカーチーム「アルビレックス新潟」と連携し、交通事故から自分自身と周りの人の大切な命を守るため、「アイシテル事故のないニイガタ。」をキャッチフレーズとした交通事故防止活動を推進している。</p> <p>その取組のひとつとして、ホーム戦前日及び当日に警察所有の交通情報板へ「アルビレックス新潟」と「交通安全」にちなんだ標語を表示するとともに、内容を交通部公式Xにポストすることでサポーター等へ広く交通安全広報を行っている。</p> <p>これまでにサポーターから募集した標語や交通企画課員が相手のチーム名を組み入れて考案した標語を表示してきたものであるが、取組も5年が経過し標語の使い回しが重なるなどの理由から、今回、改めてサポーターから新しい標語を募集し、更なる広報に繋げるものである。</p>
募集内容	<p>期間：令和8年1月26日（月）から2月6日（金）までの12日間</p> <p>方法：新潟県警察ホームページから新潟県電子申請システムにて応募</p> <p>条件：「アルビレックス新潟」と「交通安全」両方にちなんだ内容のもの 5文字（以内）×3行（以内）2面にまたがるものでも可</p>
採用法	<p>応募標語は、新潟県警察本部交通企画課にて28作品（明治安田J2・J3百年構想リーグ（9試合分）、2026/27シーズン（19試合分））を選定・採用、その中からアルビレックス新潟の選手4人（予定）が1作品ずつ選出し、採用された標語とお名前、選手のサイン入り色紙をプレゼントする。</p>

次ページに写真資料あり

交通情報板の

標語募集!



アルビに
ちなんだ

1/26(月)

2/6(金)

ホームゲームで表示!

©ALBIREX NIIGATA



アイシテル
事故のない
ニイガタ。
(毎回表示)



赤ストップ
周囲の確認
(2025.5.11
浦和レッズ戦)

まつ間も
ちゃんと
出す合図
(2025.8.25
町田ゼルビア戦)

